

28pmS-002

新亜種 *Fusobacterium nucleatum* subsp. *watanabei* subsp. nov. の提案および *F. nucleatum* subsp. *vincentii* と subsp. *fusifforme* の統合

○富田 純子¹, 楠 由紀恵¹, 田中 香お里², 森田 雄二¹, 渡辺 邦友²,
河村 好章¹(¹愛知学院大薬・微生物, ²岐阜大生命科学・嫌気性菌)

【目的】ヒト頭頸部・消化器外科感染症患者から *Fusobacterium nucleatum* が分離された。現在、*F. nucleatum* は subsp. *nucleatum*、subsp. *polymorphum*、subsp. *vincentii*、subsp. *fusifforme*、subsp. *animalis* の 5 亜種に分類されているが、臨床分離株 8 株はこれまでに報告されているどの既存亜種とも一致せず、新亜種である可能性が考えられたため解析を行った。

【方法】亜種基準株および臨床分離株の 16S rRNA、zinc protease、*rpoB*、*gyrB* 遺伝子の塩基配列を決定し、得られた配列を他の菌種の配列と共に NJ 法により系統解析を行った。また、DNA-DNA ハイブリダイゼーション試験をマイクロプレート法にて実施し、DNA 類似度を算出した。

【結果】系統解析の結果、8 株は既存のどの既存亜種グループにも属さず、独立したクラスターを形成しており新亜種であると考えられた。ハイブリダイゼーション試験の結果、系統樹で独立していた 8 株同士の類似度は 77%以上であり、これらと既存 5 亜種との相同性は 66%以下であったため、新亜種であることが確認された。一方で *F. nucleatum* subsp. *vincentii* と subsp. *fusifforme* 基準株同士の類似度は 83%以上を示し、系統解析においてもこれら 2 亜種は同一グループに属することが判明した。

【考察】今回検討した *F. nucleatum* 臨床分離株中の 8 株は新しい分類群として位置づけることが妥当であると考えられたため、*F. nucleatum* に属する新亜種 *F. nucleatum* subsp. *watanabei* subsp. nov.として提案する。また、*F. nucleatum* subsp. *vincentii* および subsp. *fusifforme* は同一亜種として統合すべきであり *F. nucleatum* の亜種分類について再編成が必要である。